

## (小学校)

(ア) 学校規模の適正化を実現するためには、昭和50年度までに本校については31校を統合する必要があり、また、小規模校比率が60%以下になるよう計画的に統廃合をすすめる。

なお、分校は現在257校あり、そのうち101校をできるだけ廃止または統合するよう推進していく。

(イ) 社会増による教育人口の増加に対しては、その地域にある小規模校の学級増をはかり、団地造成地域、著しい教育人口増加地域については昭和50年度までに26校新設する。

(ウ) 統廃合による新設校は、昭和50年度までに20校（うち校舎設立13校）を設立する。

## 小学校統廃合・新設計画

			県北	県南	会津	相双	常磐	郡山	計	(A)小規模校数	(B)比率B/A%
1.昭和39年度	学本	校数	-	-	-	-	-	-	829	570	68.8
	分校	校数	120	65	124	55	69	199	572	319	54.7
			19	27	123	32	19	97	257	257	100.0
2.統廃合による	学本	校減	-	-	-	-	-	-	112	112	-
	分校	校減	6	1	5	-	-	7	19	19	-
			5	12	33	18	14	11	93	93	-
3.新設学校数	(設立数)		4(4)	1	7(5)	1	3(2)	8(6)	24(17)	2	-
4.昭和45年度学校数(1-2+3)	学本	校数	-	-	-	-	-	-	741	460	62.1
	分校	校数	118	65	126	56	72	140	577	296	51.3
			14	15	90	14	5	26	164	164	100.0
1.昭和39年度	学本	校数	-	-	-	-	-	-	829	570	68.8
	分校	校数	120	65	124	55	69	199	572	319	54.7
			19	27	123	32	19	97	257	257	100.0
2.統廃合による	学本	校減	-	-	-	-	-	-	132	132	-
	分校	校減	9	2	9	2	2	7	31	31	-
			5	14	34	18	14	16	101	101	-
3.新設学校数	(設立数)		7(7)	1	10(8)	2(1)	12(11)	14(12)	46(39)	2	-
4.昭和50年度学校数(1-2+3)	学本	校数	-	-	-	-	-	-	743	440	59.2
	分校	校数	118	64	125	55	79	146	587	284	48.4
			14	13	89	14	5	21	156	156	100.0

## (中学校)

(ア) 学校規模の適正化を実現するため、本校については、昭和50年度までに99校の計画的な統廃合をすすめ、小規模校の比率を35%程度に引き下げる。

分校については、昭和50年度までに6校を統合する。

(イ) 社会増による教育人口の増加に対して、団地造成地域や著しい教育人口増加地域に昭和50年度までに4校を設立する。

(ウ) 統合による新設校は、昭和50年度までに36校（うち校舎設立6校）を設立する。